



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社MIXI 上場取引所

東

コード番号

2121

URL https://mixi.co.jp/

表 者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 木村 弘毅 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 CF0

(氏名) 島村 恒平

(TEL) 03-6897-9500

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 決算説明会開催の有無

:有

: 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	雪	EBITI	DA:	営業	利益	経常	利益	親会社 帰属 四半期	する
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	30, 087	3. 0	3, 914	18. 1	2, 787	24. 2	3, 263	39. 2	2, 235	69. 9
2024年3月期第1四半期	29, 207	△5.9	3, 314	△50.6	2, 245	△59.6	2, 344	△56.0	1, 315	△62.7

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,418百万円(65.9%) 2024年3月期第1四半期 1,457百万円(△58.9%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	31. 85	31. 48
2024年3月期第1四半期	18. 12	17. 91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	204, 249	173, 124	83. 6
2024年3月期	207, 342	175, 730	83. 6
(参考) 自己資本 2025年3月	期第1四半期 170,692	百万円 202	4年3月期 173,411百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
2024年3月期	_	55. 00	_	55.00	110.00			
2025年3月期	_							
2025年3月期(予想)		55. 00	_	55. 00	110. 00			

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

		売上高	5	EBIT	DA.	営業和	引益	経常	利益		に帰属する 純利益	1株当たり 当期純利益
ĺ	通期	百万円 147,000	% 0 1	百万円 23,000	% ^ 2 1	百万円 18.500	% ^ 2 5	百万円 17, 500	% 11 7	百万円 12,000	% 69. 4	円 銭 170.67
		147,000	0. 1	23, 000	△Z. I	10, 300	$\Delta 3.5$	17, 500	11.7	12,000	09. 4	170.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 —社(社名) 、除外 —社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	73, 730, 850株	2024年3月期	73, 730, 850株
2025年3月期1Q	3, 854, 035株	2024年3月期	3, 420, 835株
2025年3月期1Q	70, 174, 739株	2024年3月期1Q	72, 633, 754株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無 監査法人によるレビュー
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
- 1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下さる様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2. 当社は、2024年8月13日に機関投資家及び証券アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。その説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1.	. 当四半期決算に関する定性的情報	. 2
	(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	
	(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	. 3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 4
2.	. 四半期連結財務諸表及び主な注記	. 5
	(1) 四半期連結貸借対照表	. 5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	. 7
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	. 8
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	. 9
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
	(継続企業の前提に関する注記)	
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
	(会計方針の変更)	
	(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	·10
	(セグメント情報等の注記)	·11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	前年同四半期比増減率
売上高(百万円)	29, 207	30, 087	3.0%
EBITDA(百万円)	3, 314	3, 914	18.1%
営業利益(百万円)	2, 245	2, 787	24. 2%
経常利益(百万円)	2, 344	3, 263	39.2%
親会社株主に帰属する四半 期純利益(百万円)	1, 315	2, 235	69.9%

当第1四半期連結累計期間の売上高は30,087百万円(前年同四半期比3.0%増)となりました。また、EBITDAは3,914百万円(前年同四半期比18.1%増)、営業利益は2,787百万円(前年同四半期比24.2%増)、経常利益は3,263百万円(前年同四半期比39.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,235百万円(前年同四半期比69.9%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値 (EBITDA) としております。

① デジタルエンターテインメント事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	18, 847	18, 135	△3.8%
セグメント利益(百万円)	6, 954	7,890	13.5%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。当第1四半期連結累計期間におきましては、「モンスターストライク」は、人気IPとのコラボ開催やマーケティング等各種施策を実施したことによりMAUが増加したものの、ARPUは前年同期を割り込む月があったため、前第1四半期連結累計期間と比較して、売上高が減少しております。なお、事業撤退によりコストが減少しため、セグメント利益は増加しております。

この結果、当事業の売上高は18,135百万円(前年同四半期比3.8%減)、セグメント利益は7,890百万円(前年同四半期比13.5%増)となりました。

② スポーツ事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	7, 544	8, 583	13.8%
セグメント損失(△)(百万 円)	△277	△160	-%

スポーツ事業では、観戦事業、ベッティング事業への投資を行っております。観戦事業におきましては、FC東京の物販が好調であったこと等により、売上を伸ばしております。なお、千葉ジェッツがホームアリーナとして利用する「LaLa arena TOKYO-BAY」が4月に竣工し、5月にお披露目イベントを実施しました。ベッティング事業におきましては、スポーツベッティングサービス「TIPSTAR」及び株式会社チャリ・ロトでオンライン車券販売高が伸びたことにより、前第1四半期連結累計期間と比較して、売上を順調に拡大しております。

この結果、当事業の売上高は8,583百万円(前年同四半期比13.8%増)、セグメント損失は160百万円(前年同四半期はセグメント損失277百万円)となりました。

③ ライフスタイル事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	2, 421	2, 736	13.0%
セグメント損失(△)(百万 円)	△374	△301	-%

ライフスタイル事業では、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」、SNS「mixi」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバム みてね」におきましては、注力商材(みてねプレミアム、写真プリント、みてねみまもりGPS)が好調であったことから売上を順調に拡大しております。一方、海外ユーザー獲得のためのプロモーション及び体制強化への投資を積極的に行っております。

この結果、当事業の売上高は2,736百万円(前年同四半期比13.0%増)、セグメント損失は301百万円(前年同四半期はセグメント損失374百万円)となりました。

④ 投資事業

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	前年同四半期比増減率
売上高(百万円)	355	614	73.1%
セグメント利益(百万円)	216	288	33.0%

投資事業では、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を行っております。当第1四半期連結累計期間に おいては、当社グループの出資するファンドの損益を取り込んでおります。

この結果、当事業の売上高は614百万円(前年同四半期比73.1%増)、セグメント利益は288百万円(前年同四半期 比33.0%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

財政状態

当第1四半期連結累計期間の財政状態は、資産については流動資産が146,231百万円(前連結会計年度末比8,005百万円減少)となり、主な要因としては、自己株式の取得、貸付金の増加、配当金の支払いによる現預金の減少があげられます。固定資産は58,018百万円(前連結会計年度末比4,912百万円増加)となっており、主な要因としては、長期貸付金の増加があげられます。

負債については、流動負債が22,588百万円(前連結会計年度末比404百万円減少)となり、主な要因としては、未払金の減少があげられます。純資産は173,124百万円(前連結会計年度末比2,605百万円減少)となり、主な要因としては、自己株式の取得、配当金の支払いによる減少があげられます。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比べて14,496百万円減少し、91,192百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は3,589百万円(前年同四半期は8,222百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,352百万円及び前渡金の増加6,066百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は7,324百万円(前年同四半期は2,595百万円の使用)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出2,607百万円及び貸付けによる支出4,000百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は3,829百万円(前年同四半期は6,350百万円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出1,229百万円及び配当金の支払3,428百万円によるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日の開示時点から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105, 910	90, 958
受取手形及び売掛金	13, 227	11, 926
営業投資有価証券	23, 620	24, 603
商品	566	537
その他	11, 152	18, 448
貸倒引当金	△241	$\triangle 243$
流動資産合計	154, 236	146, 231
固定資産		
有形固定資産	17, 532	17, 907
無形固定資産		
のれん	8, 467	8, 627
顧客関連資産	4, 960	4, 79
商標権	2, 198	2, 128
その他	1, 335	1, 418
無形固定資産合計	16, 961	16, 96
投資その他の資産		
投資有価証券	7, 391	8, 19
長期貸付金	2, 745	6, 72
繰延税金資産	4, 452	3, 46
その他	5, 090	5, 83
貸倒引当金	△1, 067	△1, 06
投資その他の資産合計	18, 611	23, 14
固定資産合計	53, 105	58, 01
資産合計	207, 342	204, 24
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1, 090	2, 06
未払金	12, 101	10, 16
未払法人税等	958	34
未払消費税等	576	82
賞与引当金	1, 830	75
その他	6, 436	8, 42
流動負債合計	22, 992	22, 58
固定負債		
長期借入金	6, 341	6, 28
繰延税金負債	2, 121	2, 07
その他	156	18:
固定負債合計	8,619	8, 536
負債合計	31,611	31, 125
純資産の部		
株主資本	0.222	
資本金	9, 698	9, 69
資本剰余金	9,662	9, 662
利益剰余金	163, 190	161, 55
自己株式	△10, 310	△11, 529
株主資本合計	172, 240	169, 388

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366	370
為替換算調整勘定	803	933
その他の包括利益累計額合計	1, 170	1, 304
新株予約権	1, 109	1, 107
非支配株主持分	1, 209	1, 324
純資産合計	175, 730	173, 124
負債純資産合計	207, 342	204, 249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間	(単位:百万円) 当第1四半期連結累計期間
	(自 2023年4月1日	(自 2024年4月1日
	至 2023年6月30日)	至 2024年6月30日)
売上高	29, 207	30, 087
売上原価 	9, 929	10, 087
売上総利益	19, 278	19, 999
販売費及び一般管理費	17, 033	17, 212
営業利益 -	2, 245	2, 787
営業外収益		
受取利息	5	4
持分法による投資利益	_	267
為替差益	274	237
その他	28	24
営業外収益合計	308	533
営業外費用		
支払利息	13	17
持分法による投資損失	153	_
災害義援金	_	18
消費税差額	36	18
その他	5	3
営業外費用合計	209	58
経常利益	2, 344	3, 263
特別利益		
固定資産売却益	0	0
段階取得に係る差益	_	89
特別利益合計	0	89
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
貸倒引当金繰入額	131	_
その他	_	0
特別損失合計	132	1
税金等調整前四半期純利益	2, 212	3, 352
法人税、住民税及び事業税	143	103
法人税等調整額	812	963
法人税等合計	956	1,067
四半期純利益	1, 255	2, 284
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 ⁻ に帰属する四半期純損失 (△)	△60	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	1, 315	2, 235

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:百万円)_
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1, 255	2, 284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	$\triangle 47$
為替換算調整勘定	195	129
持分法適用会社に対する持分相当額	$\triangle 0$	51
その他の包括利益合計	201	133
四半期包括利益	1, 457	2, 418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,517	2, 368
非支配株主に係る四半期包括利益	△60	49

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	(単位:百万円) 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2, 212	3, 352
減価償却費	322	417
無形固定資産償却費	412	373
のれん償却額	334	334
貸倒引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 0$	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2, 174	△1, 077
受取利息及び受取配当金	$\triangle 5$	$\triangle 4$
支払利息	13	17
為替差損益(△は益)	△89	$\triangle 145$
持分法による投資損益(△は益)	153	△267
貸倒引当金繰入額	131	_
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
棚卸資産の増減額(△は増加)	$\triangle 30$	13
売上債権の増減額 (△は増加)	2, 246	1, 325
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△960	\triangle 1, 018
前渡金の増減額(△は増加)	$\triangle 4,510$	△6, 066
未払金の増減額(△は減少)	$\triangle 1, 151$	△911
未払消費税等の増減額(△は減少)	△830	248
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,827	$\triangle 244$
その他	1, 964	687
小計	<u>△3,789</u>	△2, 962
利息及び配当金の受取額	5	1
利息の支払額	$\triangle 12$	△17
法人税等の支払額	$\triangle 4,425$	△609
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8, 222	
投資活動によるキャッシュ・フロー		_ ,
固定資産の取得による支出	△1, 288	$\triangle 2,607$
投資有価証券の取得による支出	△665	$\triangle 4$
貸付けによる支出	$\triangle 1,800$	$\triangle 4,000$
貸付金の回収による収入	1, 200	
差入保証金の差入による支出	△43	△501
差入保証金の回収による収入	0	42
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得によ る支出	-	△255
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2, 595	△7, 324
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	403	980
長期借入金の返済による支出連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得	△145 —	△132 △23
による支出 自己株式の取得による支出	△3, 013	$\triangle 1,229$
配当金の支払額	$\triangle 3,576$	$\triangle 1,229$ $\triangle 3,428$
配当金の文仏領 その他		
· · · · · ·	△17 △6 250	A 2 220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6, 350	△3,829
現金及び現金同等物に係る換算差額	233	246
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16, 934	△14, 496
現金及び現金同等物の期首残高	118, 703	105, 688
現金及び現金同等物の四半期末残高	101, 768	91, 192

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,077,100株の取得を行いました。また、当第1四半期連結累計期間におけるストックオプションの権利行使による自己株式4,000株を払い出しました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,999百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式が19,899百万円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式436,500株の取得を行いました。また、当第1四半期連結累計期間におけるストックオプションの権利行使による自己株式3,300株を払い出しました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,219百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式が11,529百万円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20—3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	101,989百万円	90,958百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△220百万円	△222百万円
投資有価証券(MMF)	一百万円	456百万円
現金及び現金同等物	101,768百万円	91, 192百万円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

							(+ <u> </u> -
	報告セグメント						
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生じる 収益 (注) 3	18, 847	7, 544	2, 421	_	28, 813	39	28, 852
その他の収益	_	_	_	355	355	_	355
外部顧客への売上高	18, 847	7, 544	2, 421	355	29, 168	39	29, 207
セグメント間の内部売上 高又は振替高	_	_	_	_	_	_	_
± 1	18, 847	7, 544	2, 421	355	29, 168	39	29, 207
セグメント利益又は損失(△)	6, 954	△277	△374	216	6, 519	△4, 274	2, 245
その他の項目							
減価償却費	25	404	74	0	505	229	734
のれん償却額	_	239	95	_	334	_	334

- (注) 1. セグメント利益又は損失(\triangle)の調整額 \triangle 4,274百万円には、報告セグメントの減価償却費 \triangle 505百万円及びのれん償却額 \triangle 334百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上39百万円、全社費用 \triangle 3,474百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。
 - 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

							<u>(早位:日万円)</u>
		報告セグメント					
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	il 	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生じる 収益 (注) 3	18, 135	8, 583	2, 736	_	29, 455	17	29, 472
その他の収益	_	_	_	614	614	_	614
外部顧客への売上高	18, 135	8, 583	2, 736	614	30, 069	17	30, 087
セグメント間の内部売上 高又は振替高	_	_	_	_	_	_	_
計	18, 135	8, 583	2, 736	614	30, 069	17	30, 087
セグメント利益又は損失(△)	7, 890	△160	△301	288	7, 716	△4, 928	2, 787
その他の項目							
減価償却費	39	470	58	0	568	223	792
のれん償却額	_	239	95	_	334	_	334

- (注) 1. セグメント利益又は損失(\triangle)の調整額 \triangle 4,928百万円には、報告セグメントの減価償却費 \triangle 568百万円及びのれん償却額 \triangle 334百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上17百万円、全社費用 \triangle 4,043百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。
 - 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 - 3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。